



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年1月11日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岡谷 篤一
 問合せ先責任者（役職名）企画部長（氏名）守 克教 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績（平成22年3月1日～平成22年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	482,921	16.6	6,352	—	7,666	890.9	4,460	784.3
22年2月期第3四半期	414,041	—	251	—	773	—	504	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	92.24	91.14
22年2月期第3四半期	10.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	333,601	81,232	22.0	1,517.16
22年2月期	321,203	79,599	22.4	1,488.42

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 73,236百万円 22年2月期 72,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	12.00	—	10.00	22.00
23年2月期	—	11.00	—		
23年2月期(予想)				11.00	22.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想（平成22年3月1日～平成23年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	630,000	12.6	7,000	307.9	8,500	286.7	4,500	504.4	93.10

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 2. その他の情報をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社（社名 ー）、除外 一社（社名 ー）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年2月期3Q	48,944,480株	22年2月期	48,944,480株
23年2月期3Q	672,278株	22年2月期	539,406株
23年2月期3Q	48,357,849株	22年2月期3Q	48,543,965株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
【第3四半期連結累計期間】.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国では内需の伸びが緩慢だったものの、アジア諸国を中心とする新興国の需要が好調に推移し緩やかな回復を続けました。日本経済においては、アジア新興国向け輸出が下支えとなり、生産の持ち直し傾向が続きましたが、急速に進んだ円高の影響や景気刺激効果の一巡を受け、回復ペースが鈍化しました。

このような状況下にあつて、当第3四半期連結累計期間における売上高は情報・電機及び産業資材事業において大幅に増加し、4,829億21百万円で前年同期比16.6%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が316億71百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益が63億52百万円（前年同期比25.2倍）、経常利益が76億66百万円（前年同期比890.9%増）となりました。また、当四半期純利益は44億60百万円（前年同期比784.3%増）となりました。

これを事業の種類別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

普通鋼・特殊鋼とも自動車、建機・産機などの製造業向けは順調に推移しましたが建設・土木向けは公共、民間共に低迷しました。またタイ、ベトナム、インドネシアなどの東南アジア向け輸出が大幅に増加しました。

鉄鋼部門全体では、売上高は前年同期比6.8%増収の2,137億27百万円となりました。

(情報・電機)

非鉄金属分野では、世界各国における自動車関連及び家電製品の需要が拡大し、メタル相場の底上げもあり大幅な増収となりました。エレクトロニクス分野でも電子部品が売上拡大、また、今夏の酷暑によるエアコン向け半導体も増加しました。更にグループ会社として六合エレメック(株)が新たに加わったこともあり、大幅な増収となりました。

情報・電機部門全体では、売上高は前年同期比44.2%増収の1,071億33百万円となりました。

(産業資材)

メカトロ分野では、自動車をはじめ製造業の生産が回復し、部品・工具の売上が増加しました。化成品分野でも、国内外の自動車向けの売上が拡大しました。

産業資材部門全体では、売上高は前年同期比24.2%増収の1,180億90百万円となりました。

(生活産業)

配管住設分野では、工事案件の落ち込みにより、市販・直需共に減少しました。建設分野でも、マンション・戸建共に減少し、ビル付帯設備工事も低調に推移しました。食品分野は、水産品の輸入が増加しました。

生活産業部門全体では、売上高は前年同期比1.5%減収の439億68百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,336億1百万円となり、主に売上債権の増加により前連結会計年度末に比べて123億98百万円増加しました。

負債は2,523億69百万円となり、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末に比べて107億65百万円増加しました。

純資産は812億32百万円となり、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて16億32百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気の先行きなど懸念材料もありますが、情報・電機や産業資材を中心に当初予想を上廻るペースで業績が推移しておりますので、平成22年4月7日発表の通期業績予想を上方修正いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理は適用しておりません。

なお、当社及び連結子会社においては、下記の項目につき、簡便な会計処理を適用しております。

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

一部の連結子会社においては、固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算出方法

一部の連結子会社の法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境及び一時差異の発生状況等に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,912	5,953
受取手形及び売掛金	156,389	144,976
商品及び製品	32,542	30,441
仕掛品	485	394
原材料及び貯蔵品	1,530	1,227
その他	8,301	8,058
貸倒引当金	△1,154	△1,242
流動資産合計	205,007	189,810
固定資産		
有形固定資産	42,046	42,848
無形固定資産	1,240	1,613
投資その他の資産		
投資有価証券	69,651	72,088
その他	18,325	17,445
貸倒引当金	△2,669	△2,603
投資その他の資産合計	85,307	86,930
固定資産合計	128,594	131,393
資産合計	333,601	321,203

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,668	98,263
1年内償還予定の社債	40	—
短期借入金	96,026	78,864
未払法人税等	1,195	303
賞与引当金	1,333	653
その他	5,498	5,747
流動負債合計	202,762	183,832
固定負債		
社債	120	—
長期借入金	27,818	35,861
繰延税金負債	16,554	17,250
退職給付引当金	2,056	1,974
役員退職慰労引当金	706	690
その他	2,350	1,995
固定負債合計	49,606	57,771
負債合計	252,369	241,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	42,228	38,783
自己株式	△690	△572
株主資本合計	58,464	55,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,759	20,322
繰延ヘッジ損益	△38	△0
為替換算調整勘定	△3,948	△3,412
評価・換算差額等合計	14,772	16,909
少数株主持分	7,995	7,552
純資産合計	81,232	79,599
負債純資産合計	333,601	321,203

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	414,041	482,921
売上原価	388,399	451,249
売上総利益	25,641	31,671
販売費及び一般管理費	25,390	25,319
営業利益	251	6,352
営業外収益		
受取利息	605	890
受取配当金	1,020	1,092
持分法による投資利益	34	308
その他	798	667
営業外収益合計	2,459	2,959
営業外費用		
支払利息	1,576	1,385
手形売却損	100	57
その他	260	202
営業外費用合計	1,937	1,645
経常利益	773	7,666
特別利益		
固定資産売却益	2	12
投資有価証券売却益	31	33
貸倒引当金戻入額	218	102
退職給付制度終了益	102	—
その他	74	—
特別利益合計	429	148
特別損失		
固定資産処分損	39	41
減損損失	3	245
投資有価証券評価損	106	411
出資金評価損	42	4
関係会社株式評価損	1	—
その他	25	13
特別損失合計	219	716
税金等調整前四半期純利益	984	7,098
法人税、住民税及び事業税	1,275	2,065
法人税等調整額	△658	294
法人税等合計	616	2,360
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△137	277
四半期純利益	504	4,460

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

	鉄鋼 (百万円)	情報・電機 (百万円)	産業資材 (百万円)	生活産業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	213,727	107,133	118,090	43,968	482,921	—	482,921
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	816	1,238	224	1,110	3,390	(3,390)	—
計	214,544	108,372	118,315	45,079	486,311	(3,390)	482,921
営業利益	3,320	1,779	2,087	1,307	8,494	(2,142)	6,352

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）

	鉄鋼 (百万円)	情報・電機 (百万円)	産業資材 (百万円)	生活産業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	200,039	74,283	95,086	44,632	414,041	—	414,041
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	986	905	185	1,248	3,325	(3,325)	—
計	201,026	75,188	95,271	45,881	417,367	(3,325)	414,041
営業利益又は営業損失(△)	1,178	874	△755	1,277	2,575	(2,324)	251

(注) 1. 事業の区分は、取扱商品又はサービスの内容により区分しております。

2. 各区分の主な製品

- (1) 鉄鋼……鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他
- (2) 情報・電機……銅・アルミ、レア・アース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他
- (3) 産業資材……工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他
- (4) 生活産業……配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。